

令和4年度 第2回京都府中丹地域戦略会議開催結果（概要版）

- 1 日時 令和4年12月23日（金） 14時～15時30分
- 2 場所 京都府綾部総合庁舎 第1会議室
- 3 出席者 【委員】出席11名（欠席1名）
【オブザーバ】各市企画担当課長等
【中丹振興局】高屋局長、内田副局長、和久地域連携・振興部長、
高野健康福祉部長中丹東保健所次長、岡田農林商工部長、
西村建設部長、村田港湾局港湾企画課長

4 主な意見等

《UIターン》

- ・Uターン促進について対策を立てるためには実態把握が重要。
- ・働く場づくりが重要であり、商工会議所等で事業承継のサポートをされているが、京都市内に比べて北部はサポート主体が少ないので、しっかり取組をお願いしたい。
- ・Uターン促進について「若者」「企業」などの言葉が使われているが、中高年層のUターン者も相当数存在しており、働く場として企業だけでなく農業従事もあるので、対象範囲を限定せずに広報してみてもどうか。
- ・単に人口減の埋め合わせのための移住施策ではなく、地域の豊かな生活のためなど、この地域の生活や暮らしやすさの「質」を発信していくことが重要。
- ・林業従事者にはIターン者も多く、そうした方の定着を図るには、生活や教育などの環境整備も重要。

《農業・林業》

- ・集落営農法人が多くあるが、どこも後継者不足に苦慮しているなど、農業の担い手は喫緊の課題であり取組が必要。
- ・農地に植林をする場合があるが、地目の変更手続きが煩雑で整理されない場合が多い。林業は50～60年のスパンになるので、将来こうしたことが不都合につながる可能性も否定できず、何か支援や対策を考えてほしい。

《情報発信》

- ・CO-KYOTOはコンテンツ・記事が面白く、バラエティーに富んでいる。検索機能や管内の様々なサイトとの連携など機能の充実をしてほしい。
- ・今後ますますネット社会が進むと考えられるが、同時に高齢化が進むので様々な手法を使って情報発信に取り組んでほしい。

《観光》

- ・コロナ禍で、自然・風景や田舎、体験等の観光志向にあり、農家民宿や体験などは方向性としてよいが、ニーズは様々なのでオーダーメイドの対応が今後必要。
- ・山林を観光のアクティビティーに活用するなどの可能性もあると思う。
- ・観光入込客・消費額よりも、これからは質と満足度を重視していくことが必要。
- ・中丹の枠組みだけでなく、丹後局などとも連携するなど大きな枠組みで取り組むことも重要。

《防災》

- ・安心安全は、計画の3つの柱のベースとなるもので、安心安全あつての将来像、取組と考えている。行政の土木職員確保は既に危機的であり、府民にしわ寄せが出かねない問題である。

《福祉》

- ・福祉等の分野においては、定年帰農者や農福連携など、高齢者や障害者の力を生かせる分野も多くあると思う。
- ・ヤングケアラーに注目が集まっており、その要因として貧困問題が大きいと思う。府では物価高対策を行われているが、こうしたことに地道に対応することも重要。

《外国人》

- ・外国人の方についての記載が総合計画では少ないが、人手不足は全国的な課題で、かつ、企業だけでなく第1次産業などすべての産業の課題であるので、行政でも外国人の在住者の方への目配りをお願いしたい。
- ・外国から技能習得に来日され、一定年数で帰国されるが、受け入れる側は労働力として期待する現実があり、このギャップを埋める独自の施策を期待したい。